

CSRの取り組み

東京スター銀行は、企業としての社会的責任を果たし、社会・お客さまとともに発展していくため、社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。そして、これらの活動を実施する際の指針となる基本方針として、「社会への貢献」「次世代を担う人材の育成」「ダイバーシティの推進と働きやすい職場環境の提供」の3項目を掲げています。



社会への貢献

当行は、行員や行員の家族に、ボランティア活動などの社会貢献活動に参加する機会を提供し続けることにより、自ら考え、より自発的に仕事に取り組む姿勢を持った人材の育成や働き甲斐のある社風を醸成することで、社会とともに発展することを目指しています。

● 環境に配慮した取り組み

環境問題への意識が高まる中、企業に対しても持続可能な社会の形成に向けた取り組みが、近年ますます求められるようになってきています。当行においても、従来実施してきた環境に配慮した取り組みを、より積極的、体系的に行っていくため、2017年2月、金融機関等の自主的な参加により起草された「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則(21世紀金融行動原則)」および「地球温暖化対策のための国民運動COOL CHOICE(=賢い選択)」の趣旨に賛同し署名しました。環境保護意識の高い会社を目指し、電力使用量削減のための積極的な消灯空調Off促進、ペーパーレスのための紙使用量の見える化による意識付け、リサイクルペーパーの積極的な導入、クールビズなどの取り組みを行っています。

● 「ボランティア・マイレージ・プログラム」による寄付

当行では、行員のボランティア活動を奨励する制度として、行員がボランティア活動に費やした時間をポイントに置き換え、ポイント相当額を社会貢献団体などに寄付する「ボランティア・マイレージ・プログラム」を導入しています。

2016年度分のポイントは、行員が社会課題について知り、より関心を持つことができるように、各NPO団体への寄付金額を行員の投票によって決定し、被災地支援、子ども支援、動物愛護等の活動を行う9つの団体に寄付しました。



寄付先のNPO団体による行員向けセミナー

2017年8月に、行員が社会貢献活動により関心を持ち、理解する機会として、上記の投票における上位4団体を招いて、社会課題や活動内容について行員向けに説明するセミナーを行いました。行員からは、それまで知らなかった課題についての深刻さや内容に衝撃を受けたという感想も多く挙げられました。

● 自然災害からの復興に向けた支援と寄付活動

東日本大震災および各地での大規模自然災害により被害を受けられた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。当行は、被災地の一日も早い復旧・復興を願い、自然災害等で被害に遭われた方々への寄付などを行っています。

九州北部大雨災害への対応について

2017年7月の九州北部大雨災害の被害に遭われた九州北部の一日も早い復興に向け、救援金サイトを立ち上げるなど、役職員のみならずお客さまへも広く支援の呼びかけを行いました。

● すべてのお客さまに「満足」いただける銀行を目指して

当行は、ご高齢のお客さまや障がいのあるお客さまをはじめ、すべてのお客さまに「満足」いただける銀行を目指して、さまざまな取り組みを行っています。バリアフリー対応、点字ブロックの敷設、AED(自動体外式除細動器)、お取引明細書などの点字送付サービス、サービス介助士プレートや補助犬ステッカーの設置などの設備の充実を図っています。さらに、サービス介助士資格を有する行員を店舗、お客さま相談室、コミュニケーションセンターに配置するなど、行員が幅広い接客サービスの知識を習得することで、お客さまのご要望にお応えしやすい体制を整えています。



次世代を担う人材の育成

当行は、金融機関の社会的使命として、次世代を担う子どもや学生に対して、金融の役割や働くことに関する知識を楽しみながら習得できる機会を提供し、将来にその知識を役立たせることができる人材を育成することで、未来の社会がより豊かなものとなることを目指しています。

● 子ども向け金融教育の実施

当行は、子どもがお金の管理やライフプランニングなどの知識やスキルを楽しく学ぶことができる機会を提供することで、日本人の金融リテラシーの向上を目指しています。また、子どもたちに働くことへの興味を喚起することで、将来の有意義な職業選択につながるよう支援しています。当行では、行員が講師として参加するこれらの取り組みにより、行員が自己の専門分野の知見を活かしながら社会に貢献できる機会を創出しています。



困難な状況におかれている子どもへの金融教育講座

2016年から、当行では困難な状況におかれている子どもたちへの金融教育講座を実施しており、今年度は、7講座を開催し150人以上の親子が参加しました(2017年10月末現在)。

この金融教育講座では、お金の仕組み、働く・お金を稼ぐ、上手に使う・貯める、危険を避けるという4項目について、「楽しくて役立つ」学びを、クイズやワークショップを通して提供しています。参加した子どもたちは、本物のお札を見ながら偽造防止技術に驚いたり、小遣い帳を使って金銭管理を学んだり、主体的に学び、お金への関心を高める機会になりました。また、今年度から金融教育講座のボランティア講師を行内から募り、2017年7月には、初めてボランティア講師が登壇しました。



KIDS DAY 2017を開催

未来を担う子どもたちへ金融教育を提供することのみならず、行員のワークライフバランスに対する理解および社内コミュニケーション促進を目的として、2017年8月にKIDS DAY 2017を開催しました。9回目の開催となった今回は、小学生を中心とした子どもたちが、親の働く様子の見学や、当行佐藤との名刺交換など、楽しみながら銀行業務について学び、お金への興味を養う機会を提供しました。

● 貧困や虐待など困難な状況におかれている子どもへの支援

貧困や虐待など困難な状況におかれている子どもを支援するため、NPOや児童養護施設と協力し、子どもたちが幅広い体験と社会的スキルを得られる機会を提供しています。当行の企業理念である「ファイナンシャル・フリーダム」を実現できるよう、金融教育だけでなく、将来の職業の選択肢を広げるためのスキル習得に向けた支援など、子どもの未来を豊かにするための活動を行っています。

児童養護施設の子どもへのパソコン講習会・料理教室

当行では、進学や就業の際に必要なITスキルを学ぶ機会として、行員ボランティアによるパソコン講習会を継続的に実施しており、今年度は9月に実施しました。さらに、7月、10月には、健康的で、かつ経済的に安定した生活のために重要となる炊事について子どもたちが学べる料理教室を開催しました。これらは、子どもたちが社会人と交流する機会にもなっています。

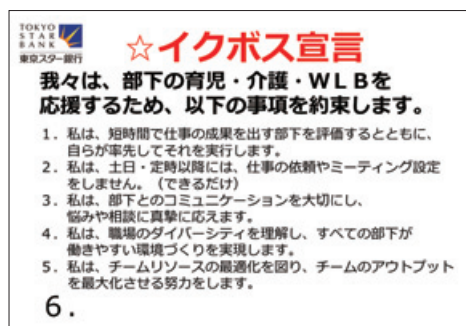


ダイバーシティの推進と働きやすい職場環境の提供

当行では、「ダイバーシティ推進は成長の源泉」であり、多様な人材が活き活きと働くことが、組織の活性化や新たな価値創造につながると考えています。お客さまのさまざまなニーズにお応えするべく、多様な視点をビジネスに反映させ、よりよいサービスを提供することを目指しています。

● 東京スター銀行「イクボス宣言」を作成

当行では、厚生労働省の日本総イクボス宣言プロジェクトへの参画を機会に、2017年7月に当行のオリジナルイクボス宣言を作成しました。頭取を筆頭に管理職のイクボス宣言は、社内イントラネットで公表するとともに、厚生労働省ウェブサイトにも掲出されています。



東京スター銀行「イクボス宣言」



当行佐藤のイクボス宣言 6. 私は、東京スター銀行を「いい会社」にします!

● イクボス・イクメン情報共有会の実施

仕事と育児を両立させる働き方は、短時間で結果を出す生産性の高い働き方でもあり、イクボス&イクメンの多い会社は、働きがいのある「いい会社」として知られています。

当行は、子育て中の男性からの「女性の育児より理解されにくい」「子供の急な病気の対応」「職場・家族とのコミュニケーション」などの課題解決を主なテーマとして、6月、8月、9月に「イクボス・イクメンランチ会」を開催しました。



「イクボス・イクメンランチ会」では、当行イクボス宣言も監修

● 働き方改革への取り組み

当行は、今年度4月から週1回18時に退行する「早帰りデー」を設定し、行員のワークライフバランスを推進するだけでなく、生産性向上を目的とした長時間労働の削減に効果をあげています。

8月に行った「早帰り&リフレッシュウィーク」では、子育てに関する座談会を実施したり、イクボスによるワークライフバランスをサポートする重要性についてのインタビューや仕事と子育ての両立のアンケート結果などを社内イントラネットにて紹介しました。また、各行員が早帰り宣言POPを机の上に掲げるなど、行員それぞれのワークライフバランスを尊重する組織風土醸成の機会としました。



早帰り宣言POPを机の上に設置